

【講習会のご案内】

数値地形図データ製品仕様書作成実践セミナー

自治体が実施する公共測量では、製品仕様書を作成し、それを発注先である測量会社に提示して業務実施することが必要となっています。また、基盤地図情報の公開が進み、自治体等と共同したスパイラルアップを具体的に進めることが求められるようになってきたことから、今後は、基盤地図情報の仕様とも整合のとれた製品仕様書を作成することが、公共測量事業を進める上で重要な課題となってきます。しかし、自治体の目的に合った正しい製品仕様書を作ることは、地理情報標準などの専門技術が求められる難しい業務だったかもしれません。

そこで本セミナーでは、国土地理院が公開している適用製品仕様書・標準製品仕様書を利用して製品仕様書を簡単に作成する方法についてご紹介し、その基本的考え方や応用方法などを学ぶことによって、自治体独自の仕様を盛り込んだ製品仕様書が作成可能になる、実践的な技術を身につけていただきます。

自治体で直接製品仕様書作成に携わるご担当者はもちろんのこと、作成された地理空間情報を利用される方や、製品仕様書を用いて公共測量を実施される測量会社の方、製品仕様書についての理解を深めたい方は是非ご参加ください。

■日時：2012年10月12日(金) 14:00～17:00 (13:30～受付開始)

■場所：常翔学園 大阪センター 301

住所：大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ 3F

詳しくは、<http://www.josho.ac.jp/facility/osakacenter.html> をご参照ください。

■講師：村尾 吉章（日本アイ・ビー・エム）

■参加費：一般：3,000円、学生：1,500円

■定員：30名（定員になり次第、受付を終了します。ご了承ください。）

■主催：(一社)日本写真測量学会関西支部

■後援：(一社)地理情報システム学会関西支部

※本講習会は、測量系 CPD 協議会において認定された学習プログラムであり、「日本写真測量学会講習会等の受講」に該当します。

※本講習は、地理情報システム学会のGIS教育認定を申請中であり、参加者の申請によってGIS上級技術者の教育達成度の履修ポイントが付与される予定です。

■講習の概要（予定）

第1部 公共測量と製品仕様書

1. 公共測量における製品仕様書の位置づけ
2. 自治体の地理空間情報と基盤地図情報
3. DMデータの限界
4. 新しい製品仕様書作成手法

第2部 製品仕様書の作成

1. 適用製品仕様書と標準製品仕様書
2. 最もシンプルな製品仕様書
3. 自治体のニーズを反映した製品仕様書
4. 測量成果作成にあたっての留意点

■参加申し込み方法

以下の事項を記入の上、下記の学会支部事務局までE-mailで、**10月5日(金)まで**にお申し込みください。受付確認後、参加費の振込み先をお知らせします。また、振込み確認後、受講証をお送りします。

※お手数ですが、お送りいただくE-mailの標題に「製品仕様書実践セミナー申し込み」とご記入いただきますよう、お願い申し上げます。

- (1) お名前
- (2) 参加区分 1.一般(3,000円) 2.学生(1,500円)
- (3) 勤務先, 所属, 住所, TEL/FAX, E-mail

※個人情報について（利用目的）：お知らせいただいた住所、氏名等の個人情報は、日本写真測量学会関西支部からの情報提供などを行うために利用します。ご本人の承諾なしに第三者に提供することはいたしません。

■連絡および申し込み先

(一社)日本写真測量学会関西支部

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町 17-8

摂南大学理工学部都市環境工学科 熊谷研究室内

TEL&FAX: 072-839-3301

E-mail: secretary@jsprs-w.org

URL: <http://www.jsprs-w.org/>